



留学生と語り合う No. 84

RKK ニュース (2021 年夏号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

2021 年度スローガンは 「創意工夫で、新たなボラン ティア活動様式を！」

5月5日に神奈川県民センターでRKK通常総会を開催いたしました。、本年も、昨年と同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小人数の参加による簡易型総会でした。会員の皆さんからは、書面表決の形で、議案に賛成いただき、無事、総会を終えることができました。

2021年度の課題は、コロナ禍を乗り越え、留学生支援活動力を維持すること、そして新しいRKKの活動のための芽を見出すことです。本年度の活動方針は「創意工夫で、新たなボランティア活動様式を！」として、推進いたします。

重点活動目標：

- ・ 新型コロナウイルス感染防止、行動の安全が第一要件
- ・ 活動の新しい芽を見出し、構想、試行に挑戦
- ・ オンラインの普及、新たなITツールの活用推進
(リモート学習支援、日本語の教え方講習会、日本語スピーチ大会、文化祭、座禅会、中国語学習、読書会等)
- ・ ICT推進委員会の新設
- ・ 会員リクルートのためのカラー版簡易型広報誌の発行
- ・ ベトナム語学習会の開講
- ・ ITを駆使した地区交流会活動の充実強化

The slogan for fiscal year 2021 is
"Create a new style of volunteer activities
with originality and ingenuity"

The RKK Annual General Meeting was held at the Kanagawa Prefectural Center on May 5. Like last year, this year's meeting was a simple one with a small number of participants to prevent the spread of the new coronavirus. All the members voted in favor of the agenda items in writing, and we successfully closed the general meeting.

Our tasks for the fiscal year 2021 are to overcome the Corona disaster, to maintain our ability to support international students, and to find the seeds for new RKK activities. Our activity policy for this year is "New style of volunteer activities with originality and ingenuity! This year's activity policy is to promote the following.

Priority activity targets:

- ・ Prevention of new coronary infections, the safety of activities is the first requirement.
- ・ Identify new seeds of activities and challenge the concept and trial.
- ・ Popularization of online support and promotion of utilization of new IT tools.
(Remote learning support, Japanese teaching workshops, Japanese speech contests, cultural festival, Zazenkai, Chinese language learning, book reading club, etc.)
- ・ Establishment of ICT Promotion Committee.
- ・ Issuing a simple color brochure for member recruitment.
- ・ Open Vietnamese language study group.
- ・ Strengthen the activities of area exchange groups using IT. (Translated by T.M.)

会員募集中

留学生と一緒に国際交流を楽しみましょう。RKKでは下記のプログラムを用意していますので、皆様のご希望に合わせて、留学生と様々な形で交流出来ます。

- ・ 日本語学習支援 (留学生と一対一で日本語の勉強、会話をします)
- ・ 文化・ファミリー交流 (フェスティバルを開催し、異文化交流を深めます)
- ・ 社会・工場見学 (工場見学、名所のハイキングに行きます)
- ・ 中国語学習 (留学生が先生となって中国語を勉強します)

RKKの活動に興味をお持ちの方は巻末のQRコードを読み取るか、[RKK npo](#) で検索してRKKのホームページにアクセスしてください。会報や最近の行事案内などをご覧になれます。入会フォームはホームページ「入会案内」から入手できます。

留学生からのたより

言語と文化から始まった、七年間の旅

もとよこはまこくりつだいがくだいがくいん ちんいりん ちゅうごく
元横浜国立大学大学院 陳以琳 (中国)



日本に旅だったのが、2014年の夏頃だった。ちょうど二十歳をすぎた年で、何も深く考えてなく日本に、という状況だったが、まさか日本で七年間近くも暮らすという事は想像もしてなかった。そしてこの七年間の影響は、どうやら自分が思ったよりもずっと深いかもしれない。母国に戻ってから二ヶ月たった今でも時々、「久しぶりだから週末は三鷹あたりに散歩に行こう」と、今どこにいるかも分からなく、頭が混乱してしまうことがある。

日本では最初の目標は大学院だった、大学院2年目からは修士論文と就活を同時進行することとなり、文書を書く時も会話する時も、自分の日本語はなんで下手だって落ち込んでいる時期があった。RKKに出会ったのも、その自ら助けを求めているその頃だった。何万字の荒い論文を持ち込んで日本語チェックだったので、今思い出しても

本当に感謝の気持ちしかなく、おかげさまで無事大学院を修了できた。

大学院修了後、とても嬉しかったのが非留学生会員の継続だった。元々趣味関心が広く、日本にいるからもっと文化を深く知りたいという気持ちがあるから、多様なイベントと一緒に参加できて、それが日本にいる間の貴重な体験になった。古典文化や言語、映画、音楽、そして様々な公演と展覧会など、自分だとなかなか入手できないイベント情報、勉強と仕事以外でも豊富な日本生活を、いつでも振り返ることができる。

母国に戻って、日本での生活を周りの人にも話している。いつか行ってみたい、と言ってくれた人が多く、それを聞いて自分も嬉しい気持ちになる。日中交流の橋とかは少し言い過ぎたが、お互いの理解を深めて交流を増やしたいというのが、日本に行った最初の頃から変わらない思いだった。(原文のまま)

4年の振り返り

けいおうぎじゅくだいがく げんかこう
慶応義塾大学 厳日恒 (中国)



日本に来てもう4年になりました。当時中国の医科大学を中退して来日しようとした時に周囲の親族に強く反対されたので、非常にプレッシャーを感じていました。また、日本語での会話が全くできないまま来日し、「はい」と「大丈夫」しか言えなかったため、買い物さえ出来なかった絶望的な日々でした。そのような辛い環境でも自信を失わず、日本語の授業で積極的に発言し、放課後家に籠って勉強しました。また、接客のアルバイトもやり始め、その中で、顧客や店長から多数の要求に対応して忍耐力と語学力を更に鍛えました。結果として、目標大学に合格できるレベルの日本語を身につけました。学習面以外、4年間私は東北から北九州まで多くの地域に旅行したことがあり、一番印象に残ったのが冬の秋田です。私は中国の広州出身であり、吹雪を一度も経験したことがありませんでした。2月秋田駅に到着した際に、非常に激しい吹雪があり、眼鏡と髪の毛は氷で飾られ、ホテルまでの道さえ見えなかったです。だが、南出身の私にとって非常に面白い経験であり、今後日本のもっと多くの場所に行き、日本の多様な風景を味わいたいと思っています。

Letters from International students

Yokohama National University, MUNBUA Wichuda (Thailand)



The reputation and quality of the Japanese educational system is the main reasons that motivated me to pursue PhD in Japan. The strongest motivation happened to me when I was a master's civil engineering student. There were the classes thought by reputable professors who

studied from Japan. The professors well backed with comprehensive academic knowledge transmitted to young students in Thailand. They have developed standard design and conducted grand breaking research that benefit the country. This dream came true when I was admitted in the Graduate school of Urban innovation of Yokohama National University for a doctoral program in civil engineering under concrete laboratory in April 2020.

Despite all the classes taken in English, Japanese language has also become indispensable especially when dealing with government documents, convenience stores, banks, and other public institutions but luckily, I have always been

understood and supported where necessary. I have been taking Japanese classes since the first year of being a PhD student, however, engineering doctoral research is more demanding, I rarely have time to practice and go over the lesson that learned from the classes. The speaking skill is my weakest point that I wish to improve.

My friend introduced me to her RKK tutor in April 2021 when COVID-19 situation started to relieve, she invited me to participate in their activity at the park. It was very impressive because apart from practicing Japanese language, the activities include advise on how to lead our life while living in Japan. After I got the advice from Tsuda sensei, I was introduced to Takasaki Naoko sensei. Since then, every week, Takasaki sensei has helped me review my Japanese lessons, for example, grammar, conversation, reading the article, role play of the speaking test. What I like the most is Takasaki sensei corrects my pronunciation. Time goes so fast when studying with Takasaki sensei. It was really fun that I hadn't realized until time's up. RKK tutor is very helpful for foreign students who want to master the Japanese language like me. I'm very appreciative of the RKK organization and would like to say thank you very much to the RKK team.

活動グループ紹介

日本語支援グループ

シリアからの留学生との交流を通じて

湘南地区 後藤 幸男

私は、現在シリアからの留学生と日本語支援を通じて交流しております。現在のコロナ禍の中、対面での会話は、控えていますが、メールやラインで、お互いに近況報告をして励ましあっています。RKKにおける活動も20年余りになりますが、その間、韓国、ベトナム、カンボジア、ポーランド、ナイジェリア、シリアからなど、バラエティに富んだ国々の留学生の方々と交流してきました。中でも、現在、交流しているシリア人の中年男性とは、8年前の2013年7月からのお付き合いです。来日したのは、シリア動乱直前で、大学院博士課程入学のためでした。日本語は、まだ不十分でしたが、積極性があり、頭脳明晰ですので、着実に進歩しています。毎回テーマを変えて、専攻しているグローバル環境情報の勉強内容、日本の生活、日本人の働き方、ラマダーンについてなど、日本語で話してもらい、意見交換をします。ご家族は、近くの大学でアラビア語を教えている奥様と4人のご息女と暮らしています。現在は、博士課程を終えて東京の公立大学の研究員となっています。オフィスビル、病院といった大型の建築物の空気洗浄、温度調節などについて、いかに効率の良い運用をするか、東京都や官庁、企業と共同研究しております。現在のコロナ禍で、空気洗浄など、とても社会的意義のある研究に携わっているものと思います。又、日本への帰化を目指して、申請を準備中で時間を要すると思いますが、微力ながらバックアップしたいと思います。RKK 入会当初の講習会で、講師の方から、ボラティアの心構えを教えてくださいました。1、自発的に

行うこと 2、無理をせず継続する 3、約束は守ること 4、活動を行ったときは、必ず記録に残すこと 5、学習を怠らないこと今後も以上のことを心がけていきたいと思ひます。

少子高齢化社会の中で新しい家族の在り方を考えて

北地区 松井 直子



私は今までに9名の留学生を支援させて頂いておりますが、昨年1年間はその途絶えておりました。今年の5月になり、中国からの留学生を紹介していただき、改めて留学生との交流は私にとって貴重な体験と思っております。

今回出会った陳紫薇さんは2年前に来日し、2年間日本語学校で日本語を学び、N1を取った努力家です。現在大学の修士課程の1年生です。昨年1年間授業もほとんどリモートで人と会わず過ごしてきたそうです。日本人との交流を望み日本語を聞く力をつけたいという彼女の気持ちはよく理解できましたので、県民センターの3階の「かながわ国際ファンクラブ」をお借りして、週1回日本語支援を行っています。日曜日のせいか人はほとんどいなく、私たち2人だけの時間を持つことができます。

社会科学を専攻している彼女の研究テーマは「少子高齢化社会について」です。中国の少子化現象の基となっている一人っ子政策の下でのお嬢様と、日本の高齢化社会の基を作っている団塊世代の私、マッチングもぴったりです。現在は新聞の切り抜きや、本やネットからの資料などを参考に読みあっています。

確かに、マスク着用で対面での支援はエネルギーが必要です。会話に疲れたら「どこかおかしい問題な日本語」などの外国の方が間違いやすい日本語についての軽めの本の読み取りや、敬語や漢字のクイズ、クロスワードパズルなどをやっています。私が好きな地域へのご案内はもう少し新型コロナウイルスが落ち着いてからと約束しています。毎回、今までの留学生とは握手をして次の再開を約束していたのですが、今は、それができないなんて、寂しいことです。彼女の趣味は歌だそうです。歌を楽しめる時期が早く来ます様に祈っております。

文化・ファミリー交流グループ

箏を通じての留学生支援

西地区 富志乃 清愁



私は5年前の「RKK フェスティバル」に箏と三味線の演奏で参加したことをきっかけにRKKに入会し、留学生会員に箏を指導する事になりました。語学力も経験もない私にできるか不安でしたが、できる事で参加してくれば良いとのアドバイスに勇気を頂き、チャレンジする事にしました。

日本文化に興味がある留学生に自宅稽古場で箏と着付けの指導をしています。彼女達は熱心に箏と向き合い教えた事をどんどん吸収するので、指導していて楽しく文化など彼女達から学ぶ事も多いです。恋愛や就職の相談に乗る事もあり、彼女達と話す事で私も元気を貰っています。

留学生と共に「とつかお結び広場」「戸塚まつり」「観月の会」に箏の演奏で参加する機会もあり貴重な体験をさせて頂いています。

コロナ禍の今は、オンラインで箏のレッスンや日本の家庭料理の作り方を教えたりと、できる事をしています。このような中、元留学生の張恬さんは5月に横浜能楽堂で開催のお弟子さんの発表会に振袖姿で参加して下さいました。その際の映像は「戸塚まつり」オンライン企画(YouTube Url 付記)で配信され良い経験になりました。会員の皆様は語学堪能、人生経験豊富な多才な方ばかりで尊敬する皆さまの助言と協力のお陰でボランティア活動をする事ができています。より多くの留学生にRKKを知って貰い、日本で生活をハッピーにして欲しいと思ひます。また私は留学生の親御さんと同年代ですので、是非とも頼って頂きたいと思ひます。これからもよろしくお願ひします。

★ 富志乃清愁さんの琴演奏(八千代獅子 共演者:張恬さん、都忘れ 共演者:篠原清久美さん)をお楽しみください。巻末に視聴の手引き「琴の演奏をご覧になるには」を示しました。

「日本語から伝統文化への道行き」（陳以琳さんとの“文化交流”）

東地区 宮地 明男

2017年10月から翌年2月ぐらまで、修士論文の日本語チェックを支援した中国人留学生がいる。母国で日本語能力検定N1に合格したが、元々の学部とは違う専攻に進んだため、日本語での論文執筆に苦労していた。正直なところ、その時は十分な支援ができたか覚束なかった。その後、日本で就職したのを期に終了するものと考えていたところ、夏から非留学生会員として継続したいと要望があり学習支援を続けることになった。

ただ、日本語の運用能力が高く、敬語を含む日本語文法を重ねて学ぶ必要はなかったこともあり、何回か相談した結果、様々な文章を互いに持ち寄って一緒に読んで考えてみるようなレッスンを行うことになった。当初から「かわさき市民活動センター」（武蔵小杉）のフリースペースを活用したことが、後の“文化交流”へのきっかけになる。

この、レッスンと言うよりもテーマに沿った対話のような学習を1年弱ぐら続け、お互いに少し困難を感じ始めていた頃、たまたまその日、数日前に聴いたばかりの“遠野言葉”による朗読を私が真似して読んでいたら、それを聞きつけた通りすがりの人から突然声を掛けられた。それは「活動センター」がある中原市民館で「おと絵語り」という一風変わった名前の公演を毎年続けている団体の代表だった。そして、もし関心があるのならと、その年に開催される件（くだん）の公演の案内をしてくれたのだ。

以後、多様な日本への関心を広げるイベントへ二人で一緒に参加するようになった。いわば日本語学習支援から生まれた文化交流である。たとえば、東洋文庫の「漢字展」を観に行ったり、國學院大学の学祭「若木祭」で“書”を眺め雅楽を聴いたりもした。神奈川大学のホールで開かれた居留地音楽の「スペシャルコンサート」や、江戸東京博物館の「大浮世絵展」にも出かけた。コロナ禍が無ければ、駒込の六義園で和歌の歌枕を探し歩くこともしてみたかった。

彼女はこの4月に帰国したが、こうした体験は私にとっても日本文化への新しい興味を深める貴重なものになったし、これからの日本語学習支援にも役立てることができよう。「負うた子に教えられて浅瀬を渡る」ではないが、母国の伝統文化への関心を留学生への学習支援を通じて広げることができたことを心から感謝している。



社会・工場見学グループ

オンライン坐禅会に参加して

社会・工場見学G 永作 重夫



6月20日21時～22時にて浅間山興教寺のご協力を得て、「RKKオンライン坐禅会」を実施いたしました。RKKの会員11名の参加を得てZOOMでの坐禅会がスタートしました。初めに、浅摩副住職より、坐禅の作法を教えていただき、体を大きく左右に揺らしながら、だんだんと振り幅を小さくして中心位置にてとめて、坐禅準備完了。鐘が3回鳴って、部屋も少し暗くして、皆さん斜め下を向いた形で没頭。今回は初心者用だったので、20分の坐禅となりました。

続いて法話をいただきました。道元禅師のお言葉“坐禅は習禅にはあらず、大安楽の法門なり”をより平易に教えていただきました。さらにペルーの方のお話を通じて、“差別から発する苦しみ、辛さから憎しみとならないよう

に、自分からカベを作らないで、分け隔てなく心を開くことが大切であるとの紹介をいただきました。その後、参加者の坐禅の感想をいただきました。以下に紹介します。

○心臓の音だけが響き、今生きているとの実感をつかみながら静かな時間が過ごせた。

○坐禅に興味があったが今まで出来なかったが、今回参加できたよかった。坐禅はしんどいけれど、またやってみたい。

○姿勢がきつく、20分でも結構体が痛くなる。でも、こんな時間を今後も持ちたい。

○心にしみた。呼吸を鼻からのみで実施することで、きついところもあるが慣れてきた。

○坐禅中は、雑念だらけだが、20分経過することで、落ち着いてきた。

○分け隔てなく対応するのは、RKKも同じである。良いお話が聞けた。



○NHKBS1の“ただ坐るだけ”を見て、坐禅に興味を持って参加した。いろいろ考えながらの坐禅だった。私は、2回目だったので、20分の坐禅が、長く感じなかった。多分40分の本格的な坐禅もやれるかなと思ひめぐらしました。皆さんにとって、新しい体験となったのではないかと思います。

中国語学習グループ

私と中国語

南地区 八木下 茂



私と中国語との初めての関わりは、会社主催の台湾研修に参加した30代前半で、中国は改革開放の時代でした。当時は今に比べて中国語の教材が少なく、週2回のラジオ講座を聞きながら独学で学習しました。しかしながら長続きせず、約2年間で頓挫しました。

その後、凡そ20年間中国語とは無縁でしたが、中国出張を契機に55歳で再度中国語にチャレンジしました。中国出張と言っても顧客との折衝時には通訳が同席するため、客先の現場指導と教育、現地での宿泊、移動、買い物ができる程度の簡単な会話が使えれば十分事足りました。

また仕事上、中国語の専門誌、報文等を読む機会が多かったこともあり、どうしても会話は疎かになりました。漢字を用いる中国語の文書は一目見れば内容は凡そ理解出来ますし、正確な発音も必要としません。中国滞在歴40年の先輩は「日中の単語は意味が全く異なる場合も有るが、凡そ6割は意味が同じだ！」と言います。

こうした日中共通の漢字文化は筆談が可能であり、恐らく古くから日中の留学生達は意思疎通の一手段として筆談を用いたであろうことは容易に察しがつきます。

定年迄の10年間で凡そ50回程の中国出張の機会に恵まれ、中国の北方から南方までの多くの都市を巡って来ました。しかしながら、殆んど独学で中国語を学んで来たため、今でも会話は不得手で、特に発音には苦勞しています。

私は会話の習得については随分と遠回りをして来たと思っています。ここ最近では、中国人ネイティブと接する機会を見つけ、出来るだけ会話をする様努めています。また、ネイティブの中国語番組を聞いて耳の訓練を行っています。こうした努力が会話の上達の近道だと思っています。

現在RKK中国語教室はコロナ禍の影響で、オンラインで学習していますが、中国ネイティブの先生からは、斬新な話題や食材・芸術・音楽等の中国文化も紹介してもらえるので、月3回の授業はとても楽しみです。

地区からの便り

南地区交流会

布津 甚大

南地区交流会は1月、5月、9月の年3回を予定しております。1月の交流会兼新年会はコロナ感染拡大の為、中止になりました。そしてその後、今日に至るまで、好転のきざしも見えず、変異ウイルス、イギリス、インド型等も発生しており、残された9月開催の見通しも立たないことから、初めてオンラインのZOOMで留学生2名も参加して、5月に交流会を行いました。会員の方々から現況の報告がありました。現在、留学生とはオンラインと時々対面で行っているとの事、また一方、一時帰国した留学生とは音信不通になっているとの話もありましたが、留学生の情報によれば、帰国中でもオンラインで大学の授業を受けているとの報告もありました。経済的なメリットも有ることから急いで帰らなくても困らないようです。従って、チューター等とも疎遠になっている可能性がありますと思われる。

横浜国大等では5月より、オンライン授業が基本ですが、一部学部で対面が復活した模様です。コロナ禍で留学生達は外出自粛しており、バイトも難しくなっており、不便な生活になっている様です。いずれにしても、コロナ禍が明ける時を会員、留学生共に待っている現況です。

東地区からのたより

鈴木 隆

コロナ禍の影響で昨年3月と6月に予定されていた地区交流会が中止となってから早いもので1年以上が経過しました。それから昨年9月に初めてオンラインでの交流会を実施し、12月、3月とオンラインでの交流会を実施してきました。昨年12月には2名の留学生にも参加して頂きました。交流会は年4回予定されており、直近では6月13日に4回目のオンラインでの交流会を開きました。回を重ねるにつれて、大分参加者も慣れてきて、当初の戸惑いも少なくなってきた気がします。今回も参加した方からは支援の現状報告や活発な質疑応答がなされました。また渡辺さんは画面を共有して留学生との写真を皆さんに披露してくれました。今回は新年度の最初の交流会という事で、事務局の萩原さんから今年度の重点方策の説明を頂き、それを踏まえた東地区の活動計画の説明、討議がなされました。これは今回が初めての試みです。内容はラインでの地区メンバーのグループ化やハイブリッド交流会など、まだアイデアだけの段階ですが、今後のウィズコロナの活動に向けてこれから試行していきたいと思っています。

委員会情報

就職活動情報

リアル面接—就活生と接する会員へのメッセージ

キャリア支援委員会 岩瀬 暢男

就職内定を得て就活を終了した学生は47.5%と高水準なものの、過半数の学生は就活中です(6/1発表、ディスコ)。オンライン面接が大勢となるなか最終面接はリアル面接も含むとする企業は4割強(同)となお多いことから、ビジネスマナーに詳しい石村文鏡さんに、チューターが知っておくと役立ちそうな3項目についてお話をうかがいました。各項の中で強調されていた2つの内容は次のようです。

①当日までの準備で大切なこと

まず予行練習をすることを挙げられ、会員が面接官役となっておこない、志望企業のパターンにあった内容の練習が良いと言います。

次に心の準備をすることを挙げられ、「面接官やその場の空気を恐れない」、「慌てない」、「ゆとりを持って」とのことで、特に恐れない気持ちは心で接する、真心をもって接することで解消されますとの言葉がありました。

②リアル面接当日に留意しておいた方が良い点

場所と時間を事前にチェックしておくことが最も大切なことで、場所の下調べによって早めに会場に到着しておかなければなりませんとの基本動作を述べられました。

次に留意すべきことは、リアルでは身だしなみのチェックが求められるということで、身だしなみの中の一つに面接経過の時間を気にしてスマホを取り出してのチェックは良くなく、更に電願も切っておくことが良いとのことでした。

③チューターとして語り合いをしてうまくいったと思う事例

一人目は複数の会社を受験し、それなりの練習をしたが同じものはなかったものの、パターン練習が生きたとの連絡を受けてうまくいったと思うと感想を挙げられました。

もう一人の留学生はビジネス会話の練習をしたいとの本人の希望に沿って練習を重ねた結果、試験にビジネス会話そのものが出て合格し、こちらもうまく運んだと思うとお話しされました。()

コロナ禍での就活体験

横浜国立大学 ブイ・ヴィエト・ティエン・トゥー (ベトナム)

コロナ禍では、会社が行う各活動はオンラインになる場合が多かったです。対面式の面接とオンライン面接を両方受けた私はいくつかのことに気がつきました。

オンライン面接だと就活用の鞆が必要なかったです。入室・退室などのマナーを見られる場面が無くなりました。そのため、対面式の面接と比べて学生側に便利で楽な場面があると思いました。

気をつけた方が良いことは、ネット環境です。企業側かこちら側かの通信状況によってトラブルが生じることです。友達から聞いた話しですが、説明会中でネットが切



れて退出になってしまっていて、セキュリティの関係で再入室ができなかったことがあったそうです。その場合、担当者に緊急電話し対応してもらいました。オンライン面接の場合も同じような対応が期待されと思います。場合によっては、電話での面接になることもあります。

ネット環境だけでなく、部屋のことも気をつけた方がいいです。ZOOM面接では、実際の部屋の状態が見えないように、仮想バックグラウンドを利用する人がいますが、それは相手側に対して不自然なイメージを与えるよと大学の就活支援担当者から聞きました。その工夫としては、自分が壁のすぐ前に背を向けて座って、パソコンのカメラを自分の近くに設置することです。そうすると自分の後ろの壁しか見えなくなりますので、部屋の状態が分からなくなります。

また、自分の部屋から面接や説明会に参加する際に、たくさんの端末が近くにあると想像もしていないことが発生します。一度面接中、お母さんが電話してきてその音が鳴り、びっくりしたことがありました。アラームなども確認しておいた方がいいと思います。

オンライン説明会でも常にカメラオンにするべきでしょう。なぜかという、プレゼンターが視聴者の反応を見ることができ、話しやすくなるからです。一般的な説明会ならカメラオンは任意になる場合が多いのですが、選考会を兼ねた説明会は、選考結果につながるイベントですので、必ずカメラオンにしましょう。もちろん、配達員が来るような予想外な場合は、一時的にオフにしても大丈夫ですが、そのような場合以外はオンにした方がいいと思います。

以上、私の経験は小さなことですが、少しでもみなさんのお役に立てば幸いです

ICT推進委員会の発足

ICT推進委員 深水 智明

「ICT推進委員会」を発足し、第一回の委員会を開催しました。ICT推進委員会の新設目的、これまでの議論等設立の背景および当面の活動について報告します。皆様のご支援をよろしく願います。



【新設の目的・背景、議論等（要旨）】

1. ICT推進委員会のRKK事業計画における位置付け

「2021年度事業計画」の各種活動のオンライン利用の推移を背景に「ICT推進委員会の新設」が計画された。この委員会がRKKのオンライン普及やIT活用等の基盤の役割を担うことになる。

2. 設立の背景およびこれまでの議論（要点）

留学生支援・交流、スタッフ間の交流でのオンラインと対面との長短では、オンラインは五感情報との対応、臨機応変面等では対面より劣り、留学生の感情知能（EI）面の対応には一考を要する。一方、オンラインは、実利面（移動距離、時間、経済性等）では対面よりも望ましい。

3. 今後の予想（After Corona）

現状、留学生の多くは大学の授業でオンライン対応に習熟し、留学生の中にはオンライン支援の要望もある。従って、今後、オンラインと対面の双方の長所を生かした各種活動の支援・交流が望ましいであろう。オンラインの活用はRKKの留学生支援・交流力の向上に望ましい。

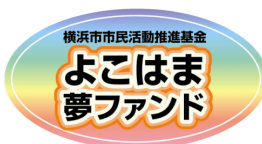
【第一回委員会報告】（6月13日）

委員：各地区交流会の推挙による6人。

委員会では、上記の設立目的を踏まえオンライン活用に関して多くの意見交換をした（紙面の都合で詳細は割愛）上で当面の活動として、RKKのオンライン利用状況の調査を実施する。皆様のご協力をお願いします。

【注】 ICT推進委員会の名称について

ICTは「Information and Communication Technology」の略。ITよりもコミュニケーションを重視し、ネットワーク利用の情報や知識の共有を推進する概念。国際的にはICTの方が定着。



よこはま夢ファンドのご案内

横浜市にはボランティア団体の活動支援を目的とした“よこはま夢ファンド”という制度があることをご存知でしょうか。本ファンドへの寄付を通じてRKKの活動を支援して頂けます。ご協力をお願いします

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/tishin/shiminkatsudou/fund/>



ベトナム語学習講座参加者募集

ベトナムの経済発展に伴い、ベトナム語学習の人気の高まっています。
RKK が開講する留学生会員を講師とするベトナム語学習講座に参加しませんか！

受講生募集要項

- 開講予定日 : 2021年(令和3年)9月5日(日曜日)～
毎週1コマ、1月4コマの予定です。
- 開催場所及び方法 : zoom 授業又は対面授業併用(コロナ禍後は、かながわ県民活動サポートセンター・ミーティングルームを活用する予定です。)
- 講師 : プン・ティ・シュアン・フォン先生 (PHUNG THI XUAN HUONG)
横浜国立大学 社会科学系 博士前期課程
- 教科書 : 講師推薦の教科書を各自購入していただきます。
- 受講料 : zoom 授業の場合1回分(1時間30分)300円、対面授業の場合 同400円
但し、この金額は受講者が10人の場合で算出しております。受講者数により変動しますのでご承
知おきください。
- 受講者定員 : 10人
- 申込み先 : RKK ベトナム語学習推進スタッフ やまぎきよしゆき 山崎令氏
☎ : 042-751-1675 携帯電話 : 080-5658-2500
Mail : ymzk@mx.mesh.ne.jp
- 申込み方法及び期限 : 電話又は e-mail にて、8月15日迄に氏名並びに連絡先(mail・Tel にて)をお知らせく
ださい。

チラシを RKK のホームページに掲載しました。<http://rkk.world.coocan.jp/pdf/vietnamese.pdf>
を左クリックするか、右の QR コードを読み取ってください。



おもな活動 (2021/5 から 2021/7 まで)

通常総会・理事会

- ◇5/5 午後、コロナ禍の感染防止のため、神奈川県民活動サポートセンター306号室にて、参加人数を制限した簡易形式の理事会と第12回通常総会を開催し、議案は承認された。本年度のスローガンは、「創意工夫で、新たなボランティア活動様式を！」とした。

スタッフミーティング

- ◇6/26 開催予定の2021年度第1回スタッフミーティングは、コロナ禍による外出・集会の自粛により、一同に会しての会議は取りやめ、各スタッフからの連絡メモを、23ページにわたる連絡メモ集として編集し、メールで配信し、情報を共有した。

活動グループ

- ◇日本語支援 G : オンラインによる1対1の日本語学習支援を推進。
- ◇文化・ファミリー交流 G : 明治学院「戸塚まつり」で琴演奏の動画を You Tube で配信。
- ◇中国語学習 G : オンライン授業に12人が参加。
- ◇社会・工場見学 G : 6/20に厚木のお寺の協力でオンライン座禅会を実施。11人が参加。

地区交流会

- ◇東地区 : 6/13にオンライン交流会を実施。8人が参加。
- ◇西地区 : 4/25にオンライン交流会を実施。元留学生を含め10人が参加。
- ◇南地区 : 5/26に留学生2人を含め8人でオンライン交流会を実施。
- ◇北地区 : 7/10にオンライン交流会を実施。10人参加。
- ◇中央地区 : 6/20に7人でオンライン交流会を実施。
- ◇湘南地区 : 6/29にオンライン交流会を実施。9人参加。

委員会

- ◇会員委員会 : マッチング検討はメールで実施。会員名簿管理。
- ◇広報委員会 : RKK ニュース 84号の編集。HPの更新。
- ◇キャリア支援委員会 : 6/17にオンラインにて新年度の活動を打合わせ。
- ◇企画委員会 : 新規事業としてベトナム語学習会の立ち上げ推進。
- ◇会計委員会 : 年会費の徴収、収支決算・事業計画予算作成。
- ◇ICT推進委員会 : 6人のスタッフが選出され、6/13に委員会をオンラインで実施。
- ◇事務室 : 事業計画・議案書作成・総会開催。NPO 事業報告書の作成と提出。「しおり」の編集。

留学生の皆さんへ／To International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・ 日常会話 (Daily Conversation)
- ・ ビジネス会話 (Business Conversation)
- ・ 卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Theses & Reports)
- ・ 新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・ 日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・ 就職活動 (Job Hunting・Entry sheets/Interviews)

Enjoy visiting plants/ laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact: 津田(Tsuda) e-mail sakura_tsudakei@ybb.ne.jp

Home Page : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Scan the right code for getting the application form.



RKK ホームページをお訪ねください

ホームページは随時更新しています。新設の「会員のひろば」は、広報誌のページにあります。

「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画など趣味の情報交換にも利用できます。掲載希望の会員はメッセージを RKK 広報委員会スタッフにお知らせください。

投稿先アドレス : <mailto:sugita1526@ybb.ne.jp>

掲載ホームページ : <http://rkk.world.coocan.jp/>

上記の URL を左クリック、または巻末の QR コードを読み取ってください。

広報委員会では皆様からの「会員のひろば」への寄稿をお待ちしております。

広報委員会

琴の演奏をご覧になるには

YouTube にこの演奏が公開されています。URL : <https://youtu.be/voN11qJVgDs> を左クリックするか、コピーしてブラウザの検索窓に貼り付けて Enter key を押してください。また、YouTube の検索窓で「RKK 留学生 戸塚」で検索しても見つかります。タブレット、スマホの場合には右の QR コードを読み取ってください。この演奏のタイトルは、[\[戸塚まつり配信企画\]NPO 法人留学生と語り合う会 \(RKK\)](#) です。

動画画面右下の [] を左クリックすると、全画面表示になりますので、見やすくなります。全画面表示の終了には [] を左クリックします。視聴時間は RKK の PR を含めて約 25 分です。



To watch the performance of KOTO (13-stringed traditional Japanese musical instrument), please visit <https://youtu.be/voN11qJVgDs>

NPO 法人 留学生と語り合う会

連絡先 : 〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

Eメール : rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax: 045-813-8327

ホームページ : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集 : RKK 広報委員会 夏号担当 村田威雄

July.27,2021



無断転載をお断りします。